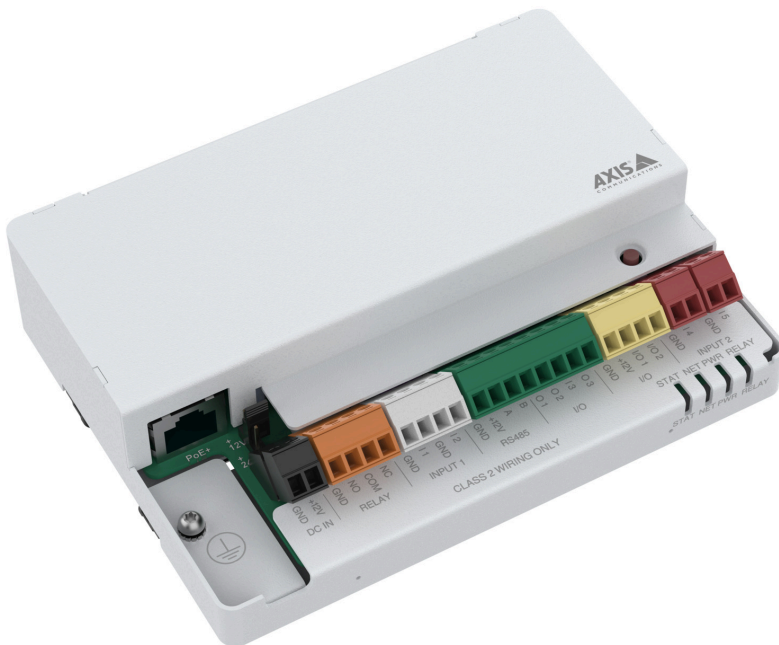


AXIS A9210 Network I/O Relay Module

拡張機能用I/Oモジュール

AXIS A9210は、設定可能なI/O 2個、入力5個、出力3個、Form Cリレー出力1個を含む10個のI/Oポートを備えており、Axis製品またはサードパーティ製システムの機能を拡張できます。カメラ、分析機能、アラームボタン、環境センサーなどからの入力を監視できるため、システムイベントを検知して対応できます。このスケーラブルな装置は柔軟な設置が可能で、どこにでも設置できます。VMSやアラームシステム、侵入検知システムなど、サードパーティの高度なセキュリティシステムとの統合も簡単です。さらに、マルチドロップテクノロジーを使用すると、最大16台のAXIS A9910 I/O Relay Expansion Moduleを追加して、さらに多くのI/O機能を実現できます。

- > I/Oポートx10、付属入力の状態監視
- > Form Cリレーx1、湿気のあるまたは乾燥条件に対応
- > 1つのIP接続^dを持つAXIS A9910により最大128のI/Oおよび64のリレーに対応
- > Axisオープンプラットフォーム - VAPIX[®]およびACAPに基づく
- > Axis Edge Vaultによるデバイスの保護



AXIS A9210 Network I/O Relay Module

I/Oインターフェース

設定可能I/O

I/O : I/O × 2 (I/O 1、I/O 2)、設定可能な入出力

デジタル入力 : 0~30 V DC (最大)、0~12 Vで監視可能 (4つのステータス)¹

プログラム可能な終端抵抗器、1 K、2.2 K、4.7 K、10 K、1%、¼ワット標準

デジタル出力: オープンドレイン、0~最大30 V DC、最大100 mA

電源出力I/O: 12 V DC出力×1、最大50 mA

入力

入力×5 (I1、I2、I3、I4、I5)

0~30 V DC (最大)、0~12 Vで監視可能 (4つのステータス)¹

プログラム可能な終端抵抗器、1 K、2.2 K、4.7 K、10 K、1%、¼ワット標準

出力

出力×3 (O1、O2、O3)

オープンドレイン、最大30 V、各100 mA

リレー

Form Cリレー×1、NO/NC、最大2 A、最大30 V DC

電源出力およびリレー: 12/24 V DC、最大24 W

PoE使用時: 最大350mA (@12V DC、最大150mA (@24V DC、最大4.5W

PoE+使用時: 最大1100 mA @ 12 V DC、最大500 mA @ 24 V DC、最大14 W

DC入力使用時: 最大2000mA (@12V DC、最大1000mA (@24V DC、最大24W

RS485

ポート×1、半二重、Modbus²

電源出力RS485: 12 V DC出力 (×1)、デフォルト200 mA

(490 mA UL 294によって検証されたハードウェア)

最大16台のAXIS A9910 I/O Relay Expansion Moduleをサポート

最大64個のModbusセンサーをサポート (マルチドロップおよび16台の拡張モジュール使用)

電源

電源入力: 12 V DC、最大36 W、または

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at、Type 2 Class 4

ケーブル要件

コネクタ用ワイヤーサイズ: CSA: AWG 28~16、

CUL/UL: AWG 30~14

DC電源: AWG 18~16、最大3 m (10 ft)

リレー: AWG 18~16、最大30 m (98 ft)

イーサネットおよびPoE: STP CAT 5e以上、最大100 m (328 ft) に対応

入力としてのI/O: AWG 24、最大200 m (656 ft) に対応

RS485: シールド付きツイストペア ×1、120オームインピーダンス、最大1000 m (3281 ft) に対応

システムオンチップ (SoC)

メモリー

RAM 512 MB、フラッシュ1 GB

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS³、TLS³、QoS Layer 3

DiffServ、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP

v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、

RTSP、RTCP、RTP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、

DHCPv4/v6、SOCKS、SSH、MQTT v3.1.1、Syslog

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX[®]、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については、axis.com/developer-communityを参照)。ACAPにはNative SDKが含まれます。

ワンクリックによるクラウド接続

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station、Axisのアプリケーション開発パートナーが提供するビデオ管理ソフトウェア (axis.com/vmsで入手可能) に対応

イベント条件

装置状態: IPアドレスのブロック、IPアドレスの削除、新しいIPアドレス、ネットワーク接続断絶、システムの準備完了、動きの検知

I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力

MQTT: サブスクライブ

スケジュールおよび繰り返し: スケジュール

1. 詳細は、help.axis.com/axis-a9210を参照

2. UL 294認証を取得した設置については、インストールガイドを参照してください。

3. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptosoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

イベントアクション

MQTT: 公開

通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール

SNMPトラップ: 送信、ルールが有効な間に送信
ステータスLED

いたずら検知

チルト、振動

認証

製品のマーキング

CE、RCM、UKCA、UL/cUL、VCCI、WEEE

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、
EN 55032 Class A、EN 50130-4、EN 61000-6-1、
EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A)

日本: VCCI Class A

韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A

米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3

IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、

RCM AS/NZS 62368.1:2022、UL 294、UL 2043

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、

IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、パスワード保護

ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム

セキュアエレメント (CC EAL 6+)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化されたファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS)⁴、IEEE 802.1AR、HTTPS/

HSTS⁴、TLS v1.2/v1.3⁴、Network Time Security

(NTS)、X.509証明書PKI、IPアドレスフィルタリング

文書化

AXIS OSハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

スチール

カラー: 白 NCS S 1002-B

取付

壁面取付

DINレールマウント

コネクタ

ネットワーク: シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE

I/O: DC電源、入力/出力、リレー用のターミナルブロック。簡単に設置できる、取り外し可能な色分けコネクタ。

コネクタ用ワイヤーサイズ: CSA:AWG 28~16、

CUL/UL: AWG 30~14

動作温度

-40°C~55°C (-40 ° F~131 ° F)

条件付き最高温度⁵: 70 ° C (158 ° F)

UL 294: 0°C~55°C (32 ° F~131 ° F)

湿度: 10~85% RH (結露不可)

保管条件

温度: -40°C~70°C (-40 ° F~158 ° F)

湿度: 5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

466 g (1 lb)

パッケージ内容

I/Oモジュール、インストールガイド、コネクタ

キット (取り付け済み)、アースキット

4. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)*によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)*によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

5. ロックには外部電源が必要です。DC 12Vで最大500 mAのオンボードリーダー電源。

オプションアクセサリ

AXIS A9910 I/O Relay Expansion Module
AXIS TA1901 DIN Rail Clip
AXIS TA1902 Access Control Connector Kit⁶
AXIS T98A15-VE Surveillance Cabinet⁶
AXIS TQ1808-VE Surveillance Cabinet⁶
AXIS TA9001 Wall Mount Bracket
AXIS 30 W Midspan
AXIS 30 W Midspan AC/DC⁶
AXIS T8006 PS12⁶
その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-a9210にアクセスしてください。

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセサリセクター
axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-a9210#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

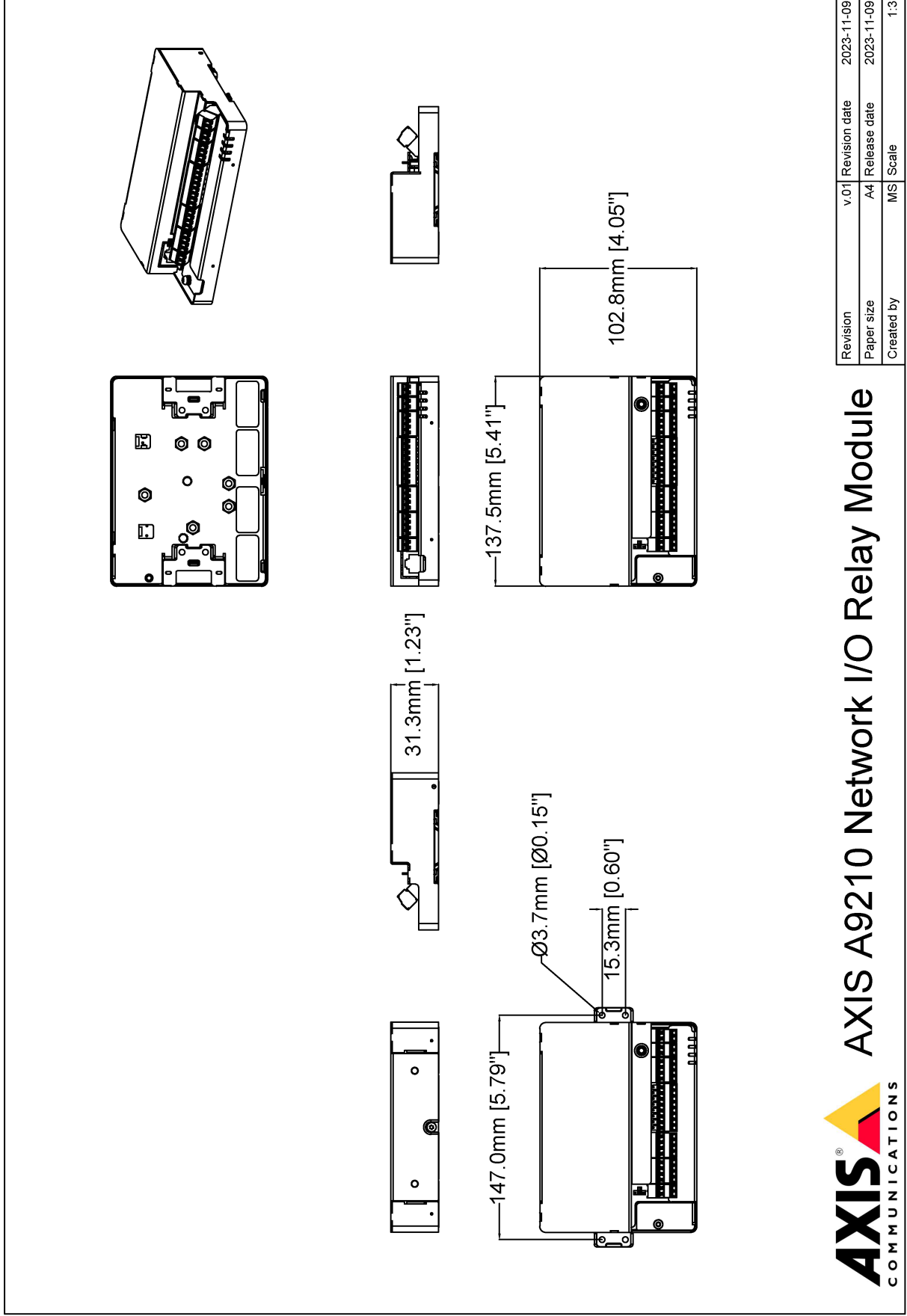
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については unglobalcompact.org を参照)

6. UL 294認証を取得した設置については、インストールガイドを参照してください。

寸法図面



AXIS A9210 Network I/O Relay Module

Revision	v.01	Revision date	2023-11-09
Paper size	A4	Release date	2023-11-09
Created by	MS	Scale	1:3

www.axis.com

© 2023 Axis Communications

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアブートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

詳細については、[axis.com/glossary](https://www.axis.com/glossary)を参照してください。